

鉄筋探査・コンクリート試験

コンクリート・モルタル水分計

本体と検出部を一体化したハンディタイプの高周波水分計です。
測定物に押し当てただけで、水分を直接デジタル表示します。

【HI-520-2】株式会社ケット科学研究所



測定原理	高周波容量式 (20MHz)
測定対象	人工軽量骨材コンクリート、石膏ボード、ALC、 コンクリート、モルタル、ケイ酸カルシウム板
測定範囲	人工軽量骨材コンクリート：0~23% 石膏ボード：0~50% コンクリート：0~12% ALC：0~100% モルタル：0~15% ケイ酸カルシウム板：0~15% Dモード：0~1999 Sモード(複合モード時のみ)：0~1100
補正機構	厚さ：10~40mm 温度：自動、手動 (-10~70°C)
測定精度	±0.5% (コンクリート・モルタル)
表示	LCDによるデジタル表示
アラーム設定	設定値以上の水分値のとき、ブザーにて報知
電源	9V乾電池×1本
寸法	72(W)×146(D)×118(H)mm
重量	約390g



	測定対象/モード	温度補正	アラーム	ホールド	板厚選択	データ 保存出力	目盛登録
通常機能	人工軽量骨材 コンクリート	○	○	○	—	—	—
	石膏ボード	○	○	○	○※ ¹	—	—
	コンクリート	○	○	○	—	—	—
	ALC	○	○	○	—	—	—
	モルタル	○	○	○	—	—	—
拡張機能	ケイ酸カルシウム板	○	○	○	○※ ¹	—	—
	Dモード	—	—	○	—	—	—
	複合モード (Dモード・Sモード)	—	—	○	—	○※ ²	—
	ユーザー目盛(0~7)	—	—	○	—	○※ ²	○※ ³

■小型・軽量のハンディタイプ

水分検出部を空中に向けて電源を入れ、対象に押し当てて測定し、測定結果をホールド表示させる、といった一連の測定動作すべてを片手で、確実・簡単

※¹石膏ボードとケイ酸カルシウム板は板厚選択が必須です。
※²メーカーオプションのデータロガーソフトが必要です。
※³メーカーオプションのデータロガーソフトを使用すると、ユーザー目盛の作成が簡単です。

■バックライト付き液晶画面を搭載

従来器 HI-520 に比べ画面サイズが大きくなり、新たに搭載されたバックライトにより、暗い場所での水分測定が容易

■ユーザー目盛作成機能

測定対象に含まれていない材料でも、ユーザー目盛を作成することで水分管理が可能
目盛は8本まで保存

■水分値と高周波容量の表示が可能

Dモードの測定では、高周波容量と相関のある0~1999の値を表示
Sモードの測定でも高周波容量と相関のある数値を表しますが、測定深度が比較的浅めの水分を測定し0~1100の値を表示